

CASBEE-建築(新築)2016年版

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)日本電産株式会社生産技術研究所一階新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v1.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.5
Q1 室内環境			0.40			3.4
1 音環境		3.0	0.15		-	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-	
1.2 遮音		3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-	
1.3 吸音		3.0	0.20		-	
2 温熱環境		3.0	0.35		-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-	
1 室温		3.0	0.38		-	
2 外皮性能		3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-	
2.3 空調方式		3.0	0.30		-	
3 光・視環境		3.8	0.25		-	3.8
3.1 昼光利用		3.0	0.30		-	
1 昼光率		3.0	0.60		-	
2 方位別開口			-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30		-	
1 昼光制御	要所(食堂、廊下、ロビー等)はロールスクリーンを設置。(仕上表参照)	4.0	1.00		-	
3.3 照度		3.0	0.15		-	
3.4 照明制御	熱感センサー及びG回路設置	5.0	0.25		-	
4 空気質環境		4.1	0.25		-	4.1
4.1 発生源対策		5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質	ホルムアルデヒド含有材料等の有害物質使用材なし	5.0	1.00		-	
4.2 換気		3.3	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮	①隣地から15m以上の空地を確保。②空気取入口は排気口より6m以上離隔。	4.0	0.33		-	
4.3 運用管理		3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-	
Q2 サービス性能			0.30			3.8
1 機能性		3.6	0.40		-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40		-	
1 広さ・収納性	1人当たりの事務スペースは9㎡以上。	4.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応	研究施設のため、OAフロアのほか、コンセント・通信の容量を確保	5.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30		-	
1 広さ感・景観	事務室・会議室・実験室の天井高さ2,700以上を確保(仕上表参照)	4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33		-	
3 内装計画		3.0	0.33		-	
1.3 維持管理		3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保	清掃員控室を設置。ゴミ庫を設置。トイレ内にSKを設置	4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		3.6	0.30		-	3.6
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。	4.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		4.2	0.20		-	
1 空調・換気設備	②熱源種の分散③吊配管の採用④空調設備の系統を区分	5.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備	①節水型器具の採用②系統の区分⑦受水槽に蛇口差設置	4.0	0.20		-	
3 電気設備	①非常電源②無停電電源③受電設備の二重化④地下空間の設置なし	5.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備	①通信手段の多様化③地下空間なし⑤ケーブルTV採用	4.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			4.3	0.30		-	4.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高4.5m以上	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.4	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		事務室3,500N/m ²	4.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			4.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性	天井スペースの確保	4.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性	PSスペースの確保	4.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	EPSスペースの確保	5.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性	主要設備機器の更新に対応するルートを確保	5.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			3.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		研究施設が建ち並ぶ地域にあり、街並景観に配慮する計画を行った。	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30		-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		バルコニー、中間領域の設置。防犯の視認性確保。研究員のプラン作成参加	4.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		条例基準を超過する緑地を確保	4.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 エネルギー				0.40			3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱材あり	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用		屋根面からの自然採光の取り入れ	4.0	0.10		-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.78	3.2	0.50		-	3.2
4 効率的運用			3.5	0.20		-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00		-	
4.1	モニタリング	設備機器の運転状況をモニタリング	4.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.3
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		節水型便器を採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60		-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		内装天井材:岩綿吸音板 エコマーク取得品	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		解体時に躯体と仕上材が容易に分割できる材料を選定	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.20		-	3.8
3.1 有害物質を含まない材料の使用		接着剤、ビニールクロス、シーリング材、塗床材等	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70		-	
1	消火剤	不活性ガス消火剤を使用	4.0	0.33		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33		-	
3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.0
1 地球温暖化への配慮		一般建物同等	3.6	0.33		-	3.6
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	駐車・駐輪台数を十分に確保。荷捌スペースの確保。来客用駐車場確保	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミ置場の設置及び分別排出。	4.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33		-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40		-	
1	風害の抑制		1.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうらみに漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	